

# 英二新聞

Vol. 1

もつとあなたと話したい

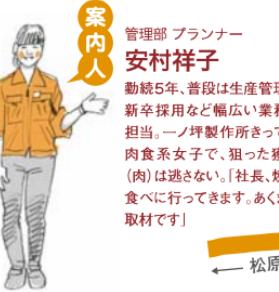
この「ツボコミ」、変わった形ですね。どう見ても「一ノ坪製作所資料」と書いているA4ファイアに入れる感じでもないですね。「一ノ坪レスター」にしては規格外です。でもこのサインやイラストが何といふ感じで、こんな形にしてみました。やるならよそいの会社かしないことを…という思いで、こんな形に弊社には営業マンがいました。普段はお会いできません。普段はお会いできない人や未来のお客様にも自分たちのやっていることをお伝えしたら、どこかで思い出していたたけるのではないか。でもニュースリリースやメールマガジンは読まずに捨てられることが多い「私もそう」。会社のことを知らない限り、愛着の持てる何か…であってほしいのですが、感想をお聞かせください。私たちのものづくりの仕事は、長年働いてきた人から現場で直接教わって頭に入ることが多い。なぜそうするかには理由があります。けれど若いうちはそんな理屈はうつとうしい。「年寄りの考え方

いました。本當によく怒られる事。若い人は、会社がこれまで培ってきた経験の蓄積には敬意を払って受け継いでほしい。けれど、あえて新しさ、試してみたことは過去や伝統にとらわれずやつてほしいとも言いたいですね。失敗を恐れずにチャレンジした結果、失敗したらしたなりの理由をしかり考えて次に生かせばいい。その蓄積が会社の未来をつくります。チャレンジする人に一番大事なのは、技術や能力よりも「元気」ですよ。会社では日頃の挨拶から元気よくやろうとみんなの尻を叩いて挨拶を励行しています。元気のない会社って、魅力ないじょ。

新しいチャレンジ、それに元気をミックスさせて「ツボコミ」で皆様とお話ししていくました。ちょっとおられました。ちょっとしきつたです。編集・発行:株式会社一ノ坪製作所 奈良県香芝市今泉625番地 0745-76-3032(平日8:00~17:00) http://www.ichinotsubo.co.jp デザイン:能勢将人 イラスト:ヤマサキタツヤ 編集協力:株式会社140B 平成27年9月1日発行

# 志都美マイラブ

ようこそ、本社工場がある奈良県香芝市へ。  
最寄り駅の志都美をめぐる今号のお題は、  
なぜだか多い「焼肉屋」!



案内人

管理部 ブランナー

安村祥子

勤続5年、普段は生産管理や

新卒採用など幅広い業務を

担当。一ノ坪製作所を

けの肉食系女子で、狙った獲物

(肉)は逃さない。「社長、焼肉

食べに行きます。あくまで

取材です」

## ① 焼肉 楽

所在地は  
香芝市今泉ですが、  
最寄り駅は志都美。  
地名にも残っていないけど  
駅舎はカッコいい。  
降りるときは手動ドアが  
愛嬌。

## ② はなぶさ

## ③ 奈々味

## ④ 焼肉レストラン 平安



株式会社 一ノ坪製作所  
ICHINOTSUBO MANUFACTURING CO., LTD.  
<http://www.ichinotsubo.co.jp>

志都美より  
愛を込めて  
コボ  
Vol. 1  
2015 Autumn



# イチのツボ!

いの一番にお届けしたい、一ノ坪製作所の「こんなこと」。  
アナタの会社にもじわじわ効く!? (かもしれません)

写真・文／ツボコミ編集部（一ノ坪製作所内）

正式名称: TruDisk レーザ溶接システム (4kw)  
メーカー: トルンプ

**いちのつぼ 鑑 Vol.1**

一ノ坪製作所を動かす頼もしい1ピースをご紹介。トップバッターは、見た目の美しさにとどめを刺す「ファイバーレーザ溶接システム」です。

案内人 案内人

ファイバーレーザ溶接システムプロジェクトリーダー 柳田吉範  
ガンダムに例えたレーザ溶接の解説を得意とする。プロジェクトリーダーですが、メンバーアイテムはありません。実は、作業服にオレンジ色を推した張本人。

見本が見れる  
見た目がいい  
全然違う!!  
本体が大きくなるので  
さらに大きな溶接も可能!!

アーチ溶接によ比べて  
速度はなんと10倍。  
ひずみも少ない。  
「速」「キレイ」「高精度」

展示会で感銘を受けたドイツの最先端システムを、ガジェット好きの社長に提案して導入成功! 人の目に触れやすい金属加工の受注も増え、その仕上がりの美しさに納得してもらっています。

案内人・柳田の声

NEWS!  
富士ファニチア様の東京ショールーム（東京都新宿区新宿6-24-20）にて「Mini KANI+」を常設展示中! ぜひ実物をご確認ください。

計測不可能な部位でも計測可能な! 少ない試作でも精度の高い製品開発ができるようになります。

また、「Work Shop」（別名・工作室）と呼ばれる特別な建屋では、実務経験40年以上の大ベテラン、ものづくりプロフェッサー、蛭本が実際に試作品を製作し、量産時における問題点や改良点を検証しています。

デジタルな最新技術と、精度の高い手作業。2つの要素があつてこその一ノ坪製作所の設計開発部なのです。

一人につき2台ずつ設置したモニターは、作業しやすいように自らカスタマイズ。

7月に、自社商品であるディスプレイスタンド「KANI+シリーズ」の新製品「KANI+」を発売いたしました。それに伴い、去る7月9日に東京で内覧会を開催し、多くのお客様に「来場いただき、初めての試みにハブニシングもちらほら。「おもしろい」とならやつてみよう」というのが当社の社風なんですが、せっかくの新製品、目立つ色に塗装しようとすることで「ドーム上に塗装してござる」と、当日は照明の加減のせいか黄土色にしか見えず… 残念、あまり目立たない結果に…。

KANIシリーズ内覧会、舞台裏は…。

舞

1回目は、今一番強化している設計開発部の紹介します。この7月に「スバル」キーパー山が加入したのは「考えることが仕事」の設計開発部。ブルーブリーダー清原とリーダー内尾を筆頭に、3Dイラストを活用した社内外への情報発信や開発営業工場設備を活かした商品設計、社内技術を活かした自社商品の開発などが主な仕事です。今年の4月に入社した新人2名も、設計開発部の未来の戦力となるべく、今は工場で作業をしながらものづくりの勉強中。モノをつくることの大変さを実感していることはありません。商品の開発や新戦力の増強は、人だけであります。これを使うことで、お客様への提案資料はもうろこ、社内の製造工程においても一目でわかりやすい情報発信ができます。また、共有モニターをそれぞれのデスクから見える位置に配備、各自のモニターの映像を映し出すことにより、データの把握や、ミーティングを行なうことができ、より迅速な対応が可能になりました。ここで、期待のホープ西前担当します。まずは3Dプリント、3次元測定器。3D

現年5名（平均年齢37歳）の戦力で奮闘中。そろそろ女性戦力がほしい…。

内尾 上山 清原 西前 蛭本